

脳神経外科・脳卒中科

脳卒中科 科長 吉田 陽一

1 今年度の目標

脳神経外科本格稼働となった前年度に、救急診療・入院診療の拡充を行った結果、20床の占有病床を得たため、こちらを運用できるように診療の安定を目指した。手術・血管内治療について、前年度に2次救急医療機関の脳神経外科としての役割を果たす準備を整えることができたため、こちらにも引き続き診療拡大に努めた。

今年度も一次脳卒中センター、日本脳卒中学会研修施設（急性期脳卒中入院症例100例/年以上）の認定を維持しつつ、脳神経外科学会連携施設、SCU造設を目標に診療拡大を目指すこととした。

2 診療体制・スタッフ

外来診療を維持しながら、救急科と連携のもと救急診療の拡充を行った。

	月	火	水	木	金
午前		吉田/杉山 (新患・再来)	藤川/吉田 (新患・再来)		杉山/藤川 (新患・再来)
午後		専門外来 (予約のみ)	非常勤 (新患・再来)	非常勤 (新患・再来)	

<スタッフ>

常勤

藤川厚（統括部長）吉田陽一（脳卒中科科長）、杉山友啓、坂田万里奈

非常勤（外来・手術業務）

樋口佳則、廣野誠一郎、中野茂樹、中村弘、宮川正

3 診療実績

<入院診療>

令和6年度の新規入院患者数は398件。症例の内訳は、以下の通り。

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
緊急入院	15			298			346		
脳卒中			14			212			243
脳梗塞（TIA含む）		11			168			179	
脳出血		3			38			54	

くも膜下出血		0			6			10	
その他の脳血管障害		0			4			3	
頭部外傷			1			58			74
頭部外傷(急性期)		1			37			46	
慢性硬膜下血腫		0			21			28	
けいれん発作		0			16			17	
脳腫瘍		0			3			4	
その他		0			5			5	
予定入院	17			57			52		
予定手術		0			18			15	
検査入院		0			26			22	
予定転院		17			13			15	
新規入院患者数	32			355			398		

<治療介入実績>

手術部門

		R5	R6
脳血管障害	破裂脳動脈瘤開頭クリッピング術	1	1
	未破裂脳動脈瘤開頭クリッピング術	1	0
	頸動脈内膜剥離術	2	0
	STA-MCA バイパス術	1	1
	開頭血腫除去術（脳出血）	3	5
	内視鏡血腫除去術（脳出血）	0	1
	減圧開頭術	2	1
外傷	開頭血腫除去術（外傷）	1	0
	穿頭洗浄ドレナージ術	27	30
水頭症	脳室ドレナージ術	2	0
	脳室腹腔シャント術	0	1
	腰椎腹腔シャント術	1	1
機能的手術	微小血管減圧術	3	1
感染症	脳膿瘍に対する手術	1	0

その他	頭蓋形成術	3	1
	その他の手術（全麻）	1	1
	その他の手術（局麻）	1	3
合計		50	48

血管内治療

	R5	R6
破裂脳動脈瘤コイル塞栓術	1	3
未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術	1	1
頸動脈ステント留置術	4	2
経皮血管形成術	0	1
血栓回収療法	9	10
合計	15	17

その他

	R5	R6
tPA 静注療法	11	9
脳血管造影検査	27	17

* 令和4年度は治療介入はなし。

<救急診療>

1年間、脳神経外科としての救急診療はコンサルトを含めて744件であった。
内訳は以下の通り。

	R4	R5	R6
頭部外傷（慢性硬膜下血腫含む）	71	227	284
脳卒中（TIA含む）	57	254	270
めまい、ふらつき	16	26	23
意識障害	6	14	11
意識消失、てんかん	15	60	47
神経症状	11	35	47
脳炎・脳症	7	4	4

頭痛	8	40	25
脳腫瘍	10	16	20
その他	5	14	13
合計	207	690	744

4 統括

救急診療・入院診療は安定して維持することができた。多職種カンファレンス・勉強会を継続することで、課題の抽出・解決を行い、円滑な病棟管理を実現できている。脳神経外科患者特有の管理にも習熟してきており、リハビリテーション部とのタスクシフトも成功しつつある。

手術・血管内治療開始において、症例を重ねてコメディカルでの経験値を上げることができた。新規治療導入についてもスムーズとなっている。

以上により、一次脳卒中センター、日本脳卒中学会研修施設（急性期脳卒中入院症例 100 例/年以上）の認定を維持するとともに、脳神経外科学会連携施設の認定を得る目標を達成できた。また、診療実績から新病院における SCU 設置を計画にのせることができた。

5 今後の目標

地域の脳神経外科救急診療の拠点となるべく、診療拡大をさらに進めていくことが目標であり、当院の役割であると考える。

具体的には一次脳卒中センターコア施設、SCU 造設を目標に診療拡大を目指す。